

# やまぐち自然共生 No. 1 ニュース

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動を行っているグループや個人のネットワークです。私たちは自然環境との共生によって、素晴らしい自然環境を後世に伝えていきます。

## 共生社会をつくろう。

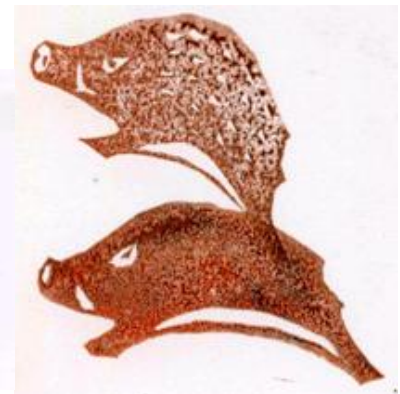
自然は、人間を生みだした親です。地球をとりまく全てのものが人間を生みだし、育み、生存を保証してくれます。人は自分たちの幸福を求める余り、その母胎である自然を傷つけてきました。また、人の暮らしに邪魔になる獣や昆虫を害獣や害虫と呼び、駆除したり、絶滅に導いたこともありました。オオカミは一方では神にされましたが、他方では人に危害を与える恐ろしい獣として偏見視されました。

そしてオオカミは日本から消えました。

今、日本列島では、シカやイノシシが大幅に増え、その被害に悲鳴を上げています。シカやイノシシの天敵はオオカミだったのでしょう。オオカミやシカ、イノシシだって人類を支える重要な生物です。だから人間は生態系の構成員として、これらの動物と共生しなければならないことになります。

今年はイノシシ年で、可愛いイノシシを描いた年賀状がたくさん届きました。昔から人はイノシシを神様のように大切にしてきました。ここで、今一度「共生」の意味をじっくり考えて見ようではありませんか。

私たちは、自分たちの足元から壊れた自然を修復したり、絶滅に瀕した生物たちを護ることに取り組まなければなりません。こういう事業を一步一步進めて、素晴らしい山口の自然の回復に努めたいものです。



---

# 活動団体の実績報告 2006年度

---

## 秋吉台パークボランティアの会（秋芳町、現在会員数59名、活動場所：秋吉台）

秋吉台パークボランティアの会は平成11年に結成されました。設立の目的は、秋吉台の多彩な利用によって、壊れた自然を修復し、すばらしい自然を維持することにあります。会員は月に2～3回集まり、半日程度の修復作業で汗を流しています。

平成18年度では次のような活動を行い、大きな成果をあげました。

- 1) 秋吉台の草原に侵入してくる竹林を伐採して、草原に復元するための事業。この事業は3年計画で実施されてきましたが、計画通り完了し、草原のなかの竹林は草原にもどされました。
- 2) 過剰利用のために裸地になった歩道は、雨によって土壌流失が続き、見るも無惨な状態になります。そこで、早期にシバ等の草を植え、修復しなければなりません。この作業を継続して行い、ひどいところから修復作業を行っています。本年度は香合東斜面の採石場跡にシバを植えました。
- 3) エコツアー事業に賛同して3回のモニターエコツアーを実施し、保全しながら自然を学ぶツアーを実践しました。多くの経験を積むことができました。
- 4) 秋吉台文化の創造を試みています。秋吉台の民話を調べたり、秋吉台の野草にまつわる創作童話を書いたりしました。また、写真では、ランドアートの研究を進めています。



## 鳴き砂復活隊（阿武町、活動場所：清ヶ浜）

鳴き砂復活隊は、鳴かなくなった鳴き砂の浜「清ヶ浜」の鳴き砂を取り戻すために、鳴かなくなった要因の一つである漂着ゴミ等を回収するボランティア団体で、平成16年1月から活動をはじめ、以降毎月最終日曜日の午前中（1～2時間程度）に活動しています。

海は連続的にゴミを運んでくるので、この活動は手が抜けません。終わりのない挑戦になります。どなたでも、**関心のある方は**どんどん応援してください。

平成18年の活動状況は次のとおりです。

実施日	参加人数	実施日	参加人数	実施日	参加人数
1月29日	10名	5月28日	19名	9月24日	22名
2月26日	14名	6月25日	雨で中止	10月29日	14名
3月26日	22名	7月30日	14名	11月25日	5名
4月30日	25名	8月27日	16名	12月10日	23名

参加者は若者中心で、小・中学生も参加しています。また、清ヶ浜のゴミ回収作業は奈古高校生、町内の2中学校、サーファーの方々によっても行われています。

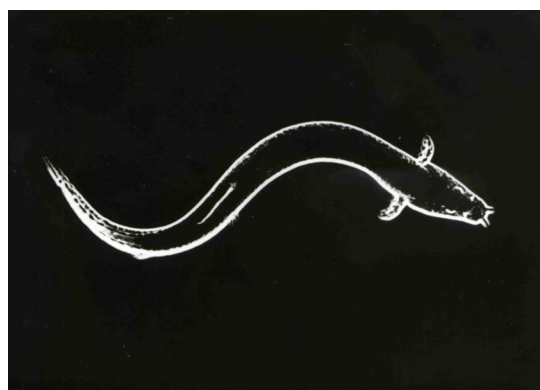


## 周防大島自然体感クラブ（周防大島町、活動場所：周防大島町）

この会は、平成15年に過疎化する周防大島を、民間中心の力でまちづくりをするために結成されました。大島には美しい海、きれいな空気や水、温暖な気候といった自然資源・地域資源があり、これを生かして取り組むことが有効です。

本年度（2006年）には自然体験型のイベントやまちづくりへの意識啓発のためのセミナーなどを開催すると共に、国民文化祭や周防大島グリーン・ツーリズムなどへも参加しました。

- 1) 周防大島スローフード スクール サツマイモの植え付けや収穫体験
- 2) 協働農園 ミカンと野菜づくり
- 3) 農家民泊体験 空き家を活用した宿泊体験
- 4) 国民文化祭「周防大島まるごと体験塾」  
周防大島八十八カ所農・技・食・歴史体験の一日バスツアー
- 5) NPO入門講座
- 6) 周防大島町民活動連携・交流フェア
- 7) 周防大島町民活動支援センター設置検討



# やまぐち自然共生ネットワークの事業

## 平成19年度の主な事業

やまぐち自然共生ネットワークは平成16年に発足して4年目になります。この会は、人が自然と共生して、すばらしい自然を後世に伝えることを目指して活動している者が集まって結成されました。だから会員は相互に助け合い、また刺激を与え合いながら、やまぐちの自然を修復したり、保全しています。

会の主催する事業は会員がたくさん参加でき、ここで会員同士の交流ができるように配慮されています。同時に県内の主要な保全すべき自然を巡回し、自然の現状が正しく理解できるよう工夫されています。さらに、私たちは人と自然の共生文化の創造にも貢献しなければなりません。これらの点を考慮して次のような事業計画案が立てられています。

平成19年度の事業計画案は次のとおりです。

### 1 総会

- 1) 通常総会 6月9日(土) 13:30~16:00 山口市(山口県旧県会議事堂議場)  
モデルエコツアー 9:00-12:30 A)山口市歴史文化散策 B)東鳳山散策

### 2 自然探訪と現地討論

- 2) リレーミーティング 9月8日(土)~9日(日) 下関市 角島  
3) ミニシンポジウム(自然共生現地討論会) 11月 周防大島町  
4) 冬の自然観察会 2月 萩市 ツバキ園と萩市立博物館

### 3 共生文化(科学・アートと文芸)

- 5) 自然共生写真手紙、版画手紙、絵手紙を県民から募集し、展覧会を開催。  
※ 作品はいきいきエコフェアにも出展され、共生思想の普及に努める。  
※ 作品募集締め切り 9月 作品は県内を巡回する。

- 4 自然共生推進事業(手づくり事業) (環境学習推進センターと活動団体の共催)  
自然保全のための標識などを県民が設置する場合の材料費などを支援する。

### 5 表彰制度の創設

自然環境保全活動に顕著な功績のあった者(団体を含む)を表彰し、功績を讃える。

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。  
活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。  
ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕

周南市八代828-10

末松幹生 (Tel 0833-91-5747)

山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修 (Tel 083-933-3060)

HPアドレス <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>